

令和3年4月1日

各位

一般社団法人 石川県建築士事務所協会  
会長 小林 正澄  
技術委員長 竹村 誠二

### 簡易耐震診断報告書の一部改訂について

日頃、本会の簡易耐震診断業務にご協力いただきありがとうございます。

さて、簡易耐震業務については、令和3年度から、できるだけ補強を見据えた報告書とするため、診断結果を「積雪時」と「無積雪時」を並記することとしたこと、また、昨年度国土交通大臣指定耐震改修支援センターの耐震改修工事費の目安が改められたことから、概算費用の計算式を改めることと致しましたので、ご理解とご協力をお願いします。

### 記

#### 1 簡易耐震診断報告書の改定について

診断結果について、「積雪時」と「無積雪時」の評点を記載することとしました。

Wee2012 (防災協会のプログラム) 以外の市販木造耐震診断プログラムではすでに積雪時と無積雪時の計算結果が出力されますが、Wee2012 を使用する場合は2通りのデータを算定することが必要となり手間が増えますが、ご協力をお願い致します。

#### 2 耐震改修費の目安について

計算手法については、今年度からは総2階法による必要耐力よりも各階床面積を考慮した必要耐力を求め、また4分割法よりも偏心率法を使って配置バランスを求めることが望ましいと考えています。これらは県主催の達人塾にて理解を深めてきた事項です。これからはなるべく上記の計算手法を用いていただきたいと思います。

なお、改修費の目安の積載については、別添エクセルシート、又は関数対応電卓を活用して頂きますよう、よろしく申し上げます。